

ハンセン病に冒された方々の人権回復のための運動を続け、当事者としてハンセン病資料館の語り部として活動しておられる平沢保治氏の講演を通して、なぜ偏見や差別によって、人は人を排除しようとするのか、人間のこころの闇とも言える偏見・差別の問題に向き合う機会となるよう企画しました。

2017年 1月 18日 水

時間 14:00～16:00 (開場 13:30)

会場 ひの煉瓦ホール (市民会館小ホール)

定員 150名 (先着順)

参加費 無料

※手話通訳あり



### 講師

平沢保治氏

国立ハンセン病資料館運営委員・語り部。  
東村山市身体障害者患者連絡会副代表。  
14歳で国立療養所・多磨全生園に入園。  
長年、ハンセン病にまつわる偏見や差別と闘い、  
人権回復と国内外の障害者運動を続けてきた。

苦しみは飲びをつくる

ハンセン病と共に75年

#### ▼会場アクセス



#### 問い合わせ先

日野市健康福祉部

セーフティネットコールセンター

TEL : 042-585-1111 (内線 2241)

E-mail : s-net@city.hino.lg.jp

NPO 法人ぷしけ

TEL : 090-4096-7198 (12時～17時)

Email : info@psyche-tsudoi.org

※日野市役所となり

JR 中央線 日野駅下車 徒歩 15分またはバス

私鉄 京王線 高幡不動駅からバス